

野村萬齋 能・狂言の世界

<あらすじ>

狂言「佐渡狐」(さどぎつね)

年貢を納めに都へ上る途中で道連れになった佐渡と越後のお百姓。佐渡に狐のいるいないを巡り賭けをすることになったが、実は佐渡に狐はおらず、狐を知らない佐渡のお百姓は、奏者(取次の役人)にワイロを使い味方についてもらう。しかし奏者の「佐渡に狐はいる」という判定に納得のいかない越後のお百姓に、狐の形格好を問いただされ…。

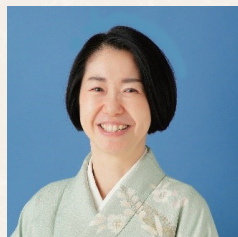
越後のお百姓の追及に必死で答える、佐渡のお百姓と奏者の連携プレーが見どころ。
世相を風刺しつつ、中世の人々のたくましく生きる姿が笑いの中に描かれた狂言です。

能「土蜘蛛 黒頭 入達之伝 サ>蟹」(つちぐも くろがしら いれちがいのでん ささがに)

都の邸宅で病床に伏している源頼光。その様子を見に訪れた怪僧(前シテ)は、手から蜘蛛の糸を出し襲い掛かる。僧は土蜘蛛の化身だったのだ。枕元の太刀で切り付けられ逃げてゆく僧。異変に気づき駆けつけた独武者(ワキ)は外へと続く血の痕をたどり塚を見つける。塚を崩すと中から土蜘蛛ノ精(後シテ)が現れて武者達に襲い掛かる…。

シテの土蜘蛛の精と武者たちの戦いが見どころの大スペクタクル能です。シテが繰り出す蜘蛛の糸にご注目ください。また、今回は《サ>蟹》の小書(特殊演出)によりアイの蟹ノ精がユーモラスな劇中劇を繰り広げます。

【関連企画】伝統芸能講座 『能・狂言つてももしろい！想像力を掻き立てる道具の世界』
講師に伝統芸能の「道具」に携わる裏方や職人を支援する活動「伝統芸能の道具ラボ」主宰の
田村民子さんをお迎えし、お道具や衣装という切り口から、能・狂言の魅力に迫ります！
九月十三日(土)十四時～十五時四十分 秩父宮記念市民会館 けやきフォーラム
【講師】田村民子(伝統芸能の道具ラボ 主宰) 【参加費】五百円
※申込方法等の詳細は、市報ちちぶ七月号または、市民会館ホームページをご確認ください。



<お問い合わせ>

秩父宮記念市民会館
The Prince Chichibu Memorial Civic Hall

〒368-8686 埼玉県秩父市熊木町8-15
TEL: 0494-24-6000 (9時～18時 火曜日休館)
<https://cebhall.saitama.jp/>

◆土蜘蛛

能

怪僧・土蜘蛛ノ精 シテ 観世三郎太

独武者 ワキ 福王 和幸

大鼓 原岡 一之 太鼓 金春惣右衛門
小鼓 大倉伶士郎 笛 杉 信太郎

黒頭 入達之伝 従者 ワキツレ 村瀬 提
サ>蟹 ワキツレ 従者 矢野 昌平

問狂言 野村 裕基
蟹ノ精 中村 修一
問狂言 関根 祥丸

後見 谷本 健吾
杉浦悠一朗

地謡
武田 章志 木月 宣行
久田勘吉郎 清水 義也
武田 祥照 角 幸二郎
田口 亮二 武田 文志

狂言

◆佐渡狐

佐渡の百姓 野村 萬齋

越後の百姓 深田 博治

奏者 石田 幸雄

◆解説

野村 萬齋 野村 裕基

休憩二十分

アクセス▶

電車でお越しの場合

- 西武鉄道 西武秩父駅から徒歩5分
- 秩父鉄道 御花畑駅から徒歩3分 秩父駅から徒歩15分

車の駐車台数には限りがあります。公共の交通機関のご利用や、徒歩、自転車等でのご来場にご協力ください。

